

実施医療機関中心から患者さん中心の臨床研究へ！！

当院では、大学病院としての使命である医療の発展に貢献するため、多くの**臨床研究**がおこなわれています。

臨床研究って？

人を対象として行われる医学研究のことです。

「くすりの候補」を国に「くすり」として認めてもらうために行う**治験**も含まれます。

病気の予防、診断、治療方法の改善や病気の原因の解明、患者さんの生活の質の向上を目的として行われます。

医療に活用できる確かな情報とするため、患者さんにご協力いただいております。



新たな取り組み：臨床研究への「患者さん・市民参画」(PPI: Patient and Public Involvement)

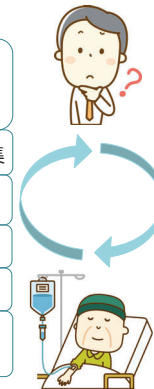
1980年代から欧米で始まり、日本においても「患者さん中心: Patient Centricity」の概念で、診療のみならず研究開発への領域にも取り入れられるようになってきています。研究者が臨床研究をすすめる際に、患者さん・市民の意見を聞きながら参考になる意見を研究計画に反映し、ともに研究をデザインしていく手法のことです。

*「患者さん・市民」：患者さん、元患者さん、患者さんのご家族、未来の患者さんを想定

「患者さん・市民参画」(PPI)ってどんなことなの？



- 患者さん・市民に意見を聞く目的、参画してほしい人の人物像、実施方法などを決める
- 参画いただく患者さん・市民募集
- 実際に参画する人を選考
- 必要な予備知識や情報の提供
- 意見聴取
- 決めた方針を参画した患者さん・市民に報告



- この研究計画書の検査と通院期間の案は患者さんに負担じゃないかな？
- どちらの研究を先に進めたらいいかな？
- 今の生活で困っていることは何かな？
- 原因解明よりこの痛みを何とかしてほしい
- この研究の参加方法は患者にとって負担
- この説明文書は、この点が分かりにくい

「患者さん・市民参画」(PPI)によって何がかわるの？

患者さんが求める治療を知り、研究の目標へつなげることができる！

患者さんから直に臨床研究への不安・疑問点を聴くことで、問題解消につなげられる！



私たちの目線で、臨床研究に参加しやすい研究計画書の作成に関わることができる！

研究説明文書の表記が分かりやすくなって、内容が理解しやすい！



来院に依存しない臨床試験 (DCT: Decentralized Clinical Trial) の活用

施設来院と自宅にてオンライン診療・訪問看護師による試験薬の投与や採血などを組み合わせて行うことができるようなハイブリッド型の臨床試験も始まっています。自宅で適切な医療を受けることにより、自分らしい毎日を過ごしていく中に治験・臨床試験という選択肢が増える準備が進んでいます。



患者さん・市民にとってより身近で、役に立つ医学研究・臨床試験へ！
新たな視点と価値の獲得から、迅速で幅広い研究成果の普及へ！

